

デイ 通信

<題字> 林正男

令和2年9月1日発行
デイサービスセンターアウル

『with コロナ』

「物事なるようにしかならない」ということは、当にわかっていることだが
まだみぬ未来を勝手に想像し不安がる。

と、思いながらも、なるようにしかならんも、どうもおかしな感じがする。
結局のところ、なるようにしかならんのだが
なるようになるよう、何かをしなければならないとも思う。

で、終わりのない禅問答が、ぼくの思考の中で悶々と続く。
要はハッキリとした答え、というよりも正解？というよりも正しさ？
そんなものが欲しいのか？

が、というよりも、揺るぎない覚悟が欲しいだけなのだろう。
馬鹿は死ななきゃ治らないとはよく言ったが
この性分、一旦どこかでリセットしなければ治らんのは
当の本人が一番よく解っている。

これもまた諦めるしかないのか。
しかし、この性分が幾多の困難をくぐり抜けてきたのも事実である。

諦めると言うよりかは、そのことが解ただけでも、この人生での収穫としよう。
そう考えると、残り少なくなって来た人生だが、少し控えめに生きた方が
ちょうどいいのかもしれない。

感謝

ア ウ ル 宮 崎 直 人



毎日の日常風景



皆さんで毎日
おいしいご飯を
作っています。
お入会行ったり、
スタッフと一緒に
調理したりと個々に
合わせて支援を
行っています。

